

「緑の人づくり」総合支援対策

【令和3年度予算概算決定額 4,658 (4,686) 百万円】
 (令和2年度第3次補正予算額 235百万円)

＜対策のポイント＞

新規就業者の確保・育成や林業への就業前の青年に対する給付金の支給を行うとともに、高校生や社会人等が先進的技術を学ぶインターンシップ、森林経営管理制度の運用に当たって市町村への指導・助言を行える技術者の養成等に取り組みます。

＜政策目標＞

- 新規就業者の確保 (1,200人 [令和3年度])
- 林業労働災害死傷者数 (平成29年比5%以上減少 [令和4年まで])
- 林業労働災害死亡者数 (平成29年比15%以上減少 [令和4年まで])
- 森林経営管理制度の支援を行える技術者の育成 (1,000人 [令和5年度まで])

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 森林・林業新規就業支援対策

4,617 (4,644) 百万円

① 「緑の雇用」新規就業者育成推進事業

4,183 (4,230) 百万円

就業ガイダンスや林業作業士（フォレストワーカー）研修、造林作業者の育成等に必要経費を支援します。

② 緑の青年就業準備給付金事業

413 (376) 百万円

林業大学校等において、林業への就業に必要な知識・技術等の習得を促進し、将来的に林業経営をも担い得る有望な人材として期待される青年を支援します。

③ 未来の林業を支える林業後継者養成事業

20 (38) 百万円

高校生や社会人が先進的技術を学ぶインターンシップ等の実施、地域の中核となる女性の活躍の促進の取組、林業グループの育成に対する取組等を支援します。

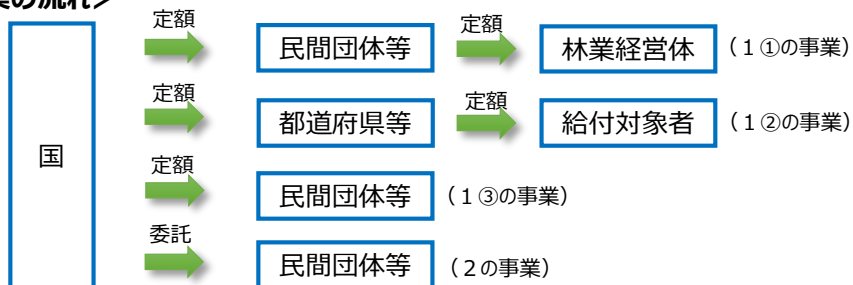
※このほか、令和2年度補正予算「緑の雇用」新規就業者育成推進事業においてトライアル雇用等を支援。

2. 森林経営管理制度推進事業

41 (41) 百万円

森林経営管理制度を円滑に運用できるよう、市町村の森林・林業担当職員を支援する技術者を養成するとともに、全国の知見・ノウハウを集積・分析し、市町村等に提供します。

＜事業の流れ＞



1. 森林・林業への新規就業の支援

就業前

高校生・社会人に対するインターンシップ等

林業大学校等で学ぶ青年への給付金の支給
 (最大155万円/年・人 最長2年支給)

就業ガイダンスの開催、トライアル雇用 (最長3ヶ月の短期研修)

※山間部での定着に向けた導入研修を含む

就業後

フォレストワーカー研修

(集合研修とOJTを組み合わせた3年間の体系的な研修)
 (最大約137万円/年・人 (1経営体に研修生2名で、1年目研修生の場合))

※造林作業者を育成する研修を含む

2. 森林経営管理制度推進事業

市町村を指導できる技術者を養成する研修の実施

森林経営管理制度に関する知見・ノウハウを集積・分析し、市町村等に提供

地域の森林・林業行政の支援体制を構築



【お問い合わせ先】 (1の事業) 林野庁経営課 (03-3502-8048)
 (2の事業) 森林利用課 (03-6744-2126)